

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年1月14日

上場会社名 株式会社ヤマダ電機
(URL http://www.yamada-denki.jp)

(コード番号：9831 東証第1部)

代表者 役職名 代表取締役社長 山田 昇

問合せ先責任者 役職名 専務取締役経営企画室長 茂木 守 TEL (027)233-5522 (代表)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：有・**無**

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高（又はこれに相当する事項）

期	項目	売上高	前年同期比
平成16年3月期第3四半期		695,753百万円	
平成15年3月期第3四半期			
(参考)平成15年3月期通期		793,829百万円	

(注) 当期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や株式市況の持ち直しなど一部に回復の兆しが見られたものの、依然として金融不安やデフレ基調は変わらず、雇用情勢の悪化などから、個人消費の低迷が引続き継続し、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当家電販売業界では、10月1日から「資源有効利用促進法」に基づいたパソコンリサイクル、12月1日から関東・近畿・中京の3大都市圏で地上デジタル放送が開始されるなど、大きな転換期となりました。営業的には、DVDレコーダーなどのデジタル関連商品の伸長はあったものの、11月の暖冬の影響による暖房商品の不振やパソコンハードの需要鈍化など厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、期初から取組んだ「接客日本一を目指して」プロジェクトを引続き推進し、社員全員が有資格認定制度による資格取得ができるよう能力向上に努め、スキル向上等に取組みました。また、中古パソコン事業を展開しているインパースネット株式会社を子会社化するなど、リユース事業、ホワイトボックスパソコン事業などを引続き積極的に展開しました。店舗開発では、テックランド佐久本店など7店舗を新設し、テックランド佐久店を閉店しました。以上の結果、平成15年12月31日現在の店舗数は217店舗（直営186店舗、連結子会社31店舗）売上高は6,957億53百万円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
通期	百万円 970,000	百万円 33,100	百万円 18,400	円 銭 220 85

(参考) 平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
通期	百万円 948,800	百万円 27,128	百万円 13,328

[業績予想について]

当社グループの当第3四半期における業績は、概ね計画通り推移しており平成15年11月14日発表の業績予想に変更はありません。

[業績等の予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上